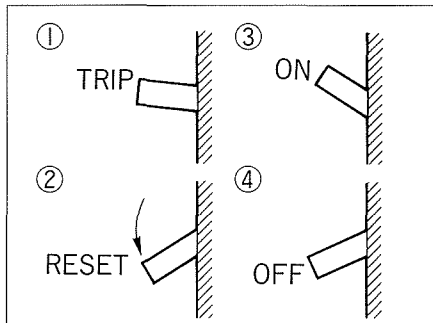


資料

構造

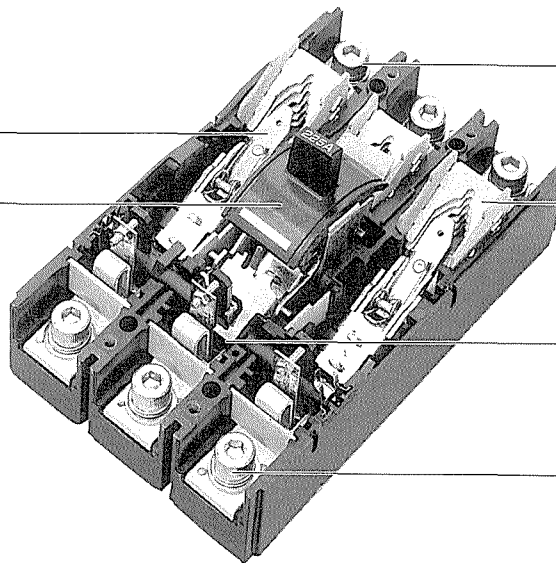
● ハンドル位置



■ 安全ブレーカ、B-33E、53E、63Eは除く。

接触子機構 ●

ハンドル ●



● 電源側端子

● 消弧装置

遮断時に発生するアークを消弧します。接点は耐消耗性抜群の特殊銀合金を使用しています。

● 引外し機構

いずれの極に過電流が流れても全極同時に遮断します。欠相運転の心配はありません。

● 負荷側端子

時延引外し特性

配線用遮断器に過電流が流れますと、過電流引外し装置が過電流である事を検出し過電流の大きさに応じて、決められた時延をもって回路を自動遮断します。

時延引外し特性はJIS(日本工業規格)、電気用品の技術上の基準を定める省令等に定められており表の通りです。

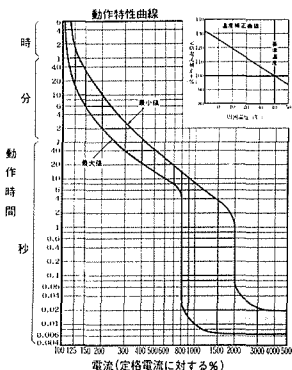
この時延引外し特性をそなえる過電流引外し装置には種々のものがあり、それぞれ特徴をそなえております。テンパール配線用遮断器も、用途・容量に応じそれぞれ最適の方式を採用しております。

適合規格	遮断器の定格電流(A)	動作時間(分)		
		定格電流の100%の電流	定格電流の125%の電流	定格電流の200%の電流
電気用品の技術上の基準を定める省令 JIS C 8370	30以下	動作せず	60以内	2以内
	30を超え 50以下		60以内	4以内
	50を超え 100以下		120以内	6以内
	100を超え 225以下		120以内	8以内
	225を超え 400以下		120以内	10以内
	400を超え 600以下		120以内	12以内
	600を超え 800以下		120以内	14以内
	800を超え 1000以下		120以内	16以内
	1000を超え 1200以下		120以内	18以内
	1200を超え 1600以下		120以内	20以内
	1600を超え 2000以下		120以内	22以内
	2000を超えるもの		120以内	24以内

配線用遮断器

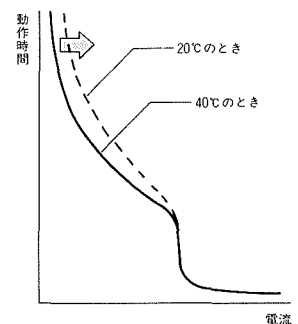
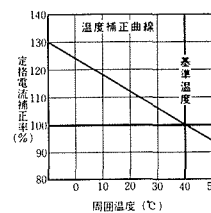
動作特性曲線

動作特性曲線は過電流の大きさと、動作時間の関係を示したものです。特性曲線に幅があるのは、動作時間がその範囲内にあることを表します。



周囲温度補正曲線

■ 熱動式・熱動電磁式の場合
基準周囲温度以外で使用される場合動作電流が変化します。温度補正曲線により定格電流の補正を行ってください。



完全電磁式の場合

基準周囲温度以外で使用される場合動作時間が変化します。温度補正曲線により補正してください。

